

# 信光ステンレス

## 当日配送率を一層向上

### 割合30%に即納機能強化へ

ステンレス鋼線の専門商社、信光ステンレス（本社＝東大阪市、西居慎一郎社長）は、ユーザーニーズの一層向上のため、商品の即納体制を深化させ、配送機能を強化する。配送車両を増加させるとともに自社大型立体倉庫を活用し、国内販売に占める当日配達割合を、足元の20%から30%にまで高めていく。

同社ではここ数年、事業体制の拡充を推進。本社と同じ東大阪

市内に、1200㎡が収納できる国内最大級の線材・鋼線専用の大

型立体自動倉庫を基軸に、本社、東京、物流センターの3事業拠点

の業務管理を連動させ、一元管理できる基幹システムを導入する

など、ユーザーニーズへの対応強化につなげている。

配送機能についても、受注した商品ではできる限り当日にユーザーへ届ける「即日配達」を心掛け、業務効率の向上を推進している。

今後も、自動倉庫の回転率の一層向上や配送車両の拡充などを行い、当日配送の割合比率30%達成につなげる。

国内のステンレス鋼線市場シュリンクや輸入材の増加など、ステンレス鋼線を取り巻く環境は厳しさを増しているなか、「当社のモットー『要る時・要るだけ・要る値打ち』のもと、顧客のものづくりのお手伝いをさせていただくことで、存在意義を高めていきたい」（西居厚会長）としている。